

★法学研究科では、GPA基準を設けない選考区分が新設されました。詳しくは 法学研究科へお問い合わせください。

法学研究科

出願要件 : GPA基準あり★
 対象学部 : 全学部
 選考方法 : 面接試問
 入学試験日 : 2023年9月15日
 お問い合わせ : 大学院事務室
 03-3296-4145
 law_grad@mics.meiji.ac.jp

商学研究科

出願要件 : GPA基準あり
 対象学部 : 全学部
 選考方法 : 面接試問
 入学試験日 : 2023年7月18日
 お問い合わせ : 大学院事務室
 03-3296-4704
 shoken@mics.meiji.ac.jp

政治経済学研究科

出願要件 : GPA基準あり
 対象学部 : 全学部
 選考方法 : 面接試問
 入学試験日 : 2023年9月30日
 お問い合わせ : 大学院事務室
 03-3296-4150
 seikeiken@mics.meiji.ac.jp

国際日本学研究科

出願要件 : GPA基準あり
 対象学部 : 全学部
 選考方法 : 面接試問
 入学試験日 : 2023年9月30日
 お問い合わせ : 中野教務事務室
 03-5343-8039
 ggjs@mics.meiji.ac.jp

2023年7月/9月実施

明治大学大学院

文系研究科博士前期課程

「学内選考」入学試験

教養デザイン研究科

出願要件 : GPA基準あり
 対象学部 : 全学部
 選考方法 : 面接試問
 入学試験日 : 2023年9月30日
 お問い合わせ : 大学院事務室 (和泉)
 03-5300-1529
 humanity@mics.meiji.ac.jp

情報コミュニケーション研究科

出願要件 : GPA基準あり
 対象学部 : 全学部
 選考方法 : 面接試問
 入学試験日 : 2023年9月13日
 お問い合わせ : 大学院事務室
 03-3296-4285
 jokomiken@mics.meiji.ac.jp

文学研究科

出願要件 : GPA基準あり
 対象学部 : 全学部
 選考方法 : 面接試問
 入学試験日 : 2023年7月8日
 お問い合わせ : 大学院事務室
 03-3296-4143
 bunken@mics.meiji.ac.jp

経営学研究科

出願要件 : GPA基準あり
 対象学部 : 全学部
 選考方法 : 面接試問
 入学試験日 : 2023年9月12日
 お問い合わせ : 大学院事務室
 03-3296-4705
 keiei_grad@mics.meiji.ac.jp

※文学研究科を除く7研究科は、2024年2月にも「学内選考」入試を実施予定です。

◆出願期間

商学研究科	2023年5月29日(月)～6月2日(金)
文学研究科	2023年6月9日(金)～6月16日(金)
法学研究科、政治経済学研究科、経営学研究科、情報コミュニケーション研究科、教養デザイン研究科、国際日本学研究科	2023年7月2日(日)～7月7日(金)

進学の相談・入学試験の詳細は各研究科へお問い合わせください。

「学内選考」入試とは

- ・明治大学生のみを対象とした制度です。
- ・現在の学部とは異なる分野の研究科にも出願できます。
- ・研究科により、学内選考入試出願前に希望指導教員の承認が必要になります。
- ・主に面接試問により選考を行います(一部研究科を除く)。

※出願要件を満たさない方は、一般入学試験・外国人留学生入学試験もご検討ください。

充実した少人数教育

きめ細かい教育研究指導・教育体制を通じて、研究者と高度専門職業人の双方を育成しています。

<博士前期課程・修士課程> 大学院担当専任教員1人あたりの学生数

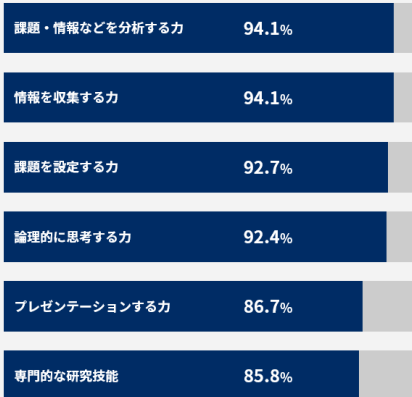
文系研究科平均*1 約 **1.3** 人
理系研究科平均*2 約 **4.1** 人



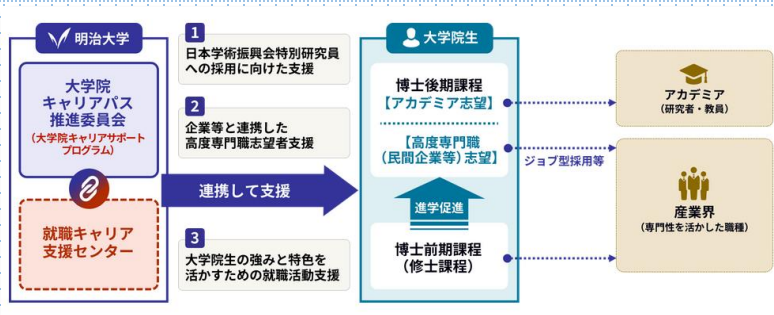
*1 法学研究科、商学研究科、政治経済学研究科、経営学研究科、文学研究科、情報コミュニケーション研究科、教養デザイン研究科、国際日本学研究科の平均（2022年5月1日現在）

*2 理工学研究科、農学研究科、先端数理科学研究科の平均（2022年5月1日現在）

大学院で獲得することのできる能力



*明治大学が在学生に実施した「2021年度大学における学びに関するアンケート」の各設問において、「大きく向上した」または「少し向上した」と回答した大学院生の比率。



大学院生に特化した キャリアサポートプログラム

「アカデミア志望者への支援」「民間企業における就職活動への支援」の双方を行い、大学院生に必要な支援に重点を置き実施しています。

明治大学大学院の魅力をまとめた特設サイトを公開中です。インタビューの全文もご覧いただけます。



豊富な独自奨学金・充実の研究助成

大学院生が研究活動に存分に打ち込むことができるよう、後押ししています。

明治大学独自の奨学金採用者数*1（受給率*2）

博士前期課程/修士課程

495名（約 33%）

博士後期課程

149名（約 83%）



*1 2021年度実績。大学院研究奨励奨学金A・B、特定研究者育成奨学金、私費外国人留学生奨学金、私費外国人留学生授業料補助の実受給者数計。

*2 2021年度5月1日時点で、標準修業年限内にある学生のうち、明治大学独自の奨学金受給者が占める比率。

修了生インタビュー

篠塚 玲奈さん 商学研究科 商学専攻 博士前期課程 修了
キンドリルジャパン・テクノロジーサービス株式会社 勤務

—大学院に進学したきっかけや理由を教えてください。また、大学院進学にあたり、明治大学大学院を選んだ理由を教えてください。

私は学部生時代にアプライド・エコノミクスコースで様々な視点から経済を学びました。商学部での4年間の基礎的な学び、英語のスキルアップやフランス語の語学学習に力を注ぎ、そこから将来、「世界の架け橋」となるために国際ビジネス交渉論を学ぶ目標を定め、大学院では貿易系列で研究することにしました。また海外に造詣の深い祖父が、大学院に進学し、グローバル社会に通用する分野を研究するようにと後押ししてくれたことも進学のきっかけとして大きかったと思います。大学入学当時より、大学院進学に向けて、明治大学大学院の学内選考入試が海外の大学院の受験を考えておりましたが、4年生の春に行われた大学院合同進学相談会で商学研究科の教授とお話する機会があり、その場で春学期の学内選考入試を受験することを決意しました。

—大学院に進学してよかったこと、大学院に進学して身に付いた能力等について教えてください。また、大学院に進学したことが、現在、どのように役立っているか教えてください。

大学院では文献を輪読し、頻繁にプレゼンテーションを重ね、専門分野を究める充実した貴重な時間を過ごしておりましたので、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上にも繋がったのではないかと思います。多様性が求められる今日、海外に関する知識やご経験の豊富な教授方の心温まるご指導のもとで自主的な研究をしていくことは、大変な面もありましたが、それを凌駕する楽しさを見出すことができました。また商学研究科の大学院生は、国籍や世代も様々で新たな学びも多かったです。商学研究科での経験があったからこそ、現在、同期の纏め役となり、色々な立場の上司の方々と円滑にコミュニケーションを行い、少しずつではありますが、社会のお役に立てるようなビジネスパーソンへと成長していっていると信じております。

